

防火キットFPK 工事説明書

安全のために必ずお守り下さい。

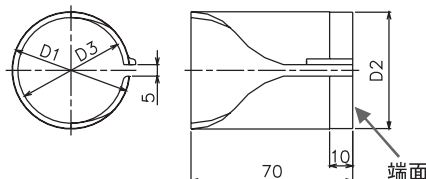
本文中の表示と意味は次のようになっています。



この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●外形寸法

品番	FPK-S	FPK-P	FPK-M	FPK-L
外径 (mm)				
φ D 1	24	29	39	51
φ D 2	23.6	28.6	38.6	50.6
内径 (mm)				
φ D 3	19	24	34	46



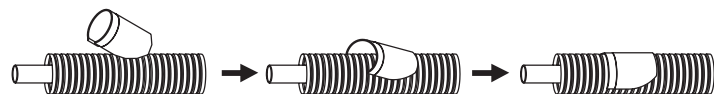
●施工手順

本製品をご使用前に、詳細な施工条件につきまして、「国土交通大臣認定書」及び「日本消防設備安全センター性能評定書」を必ず確認して下さい。

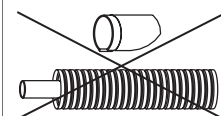
①防火キットを配管に取付(壁・床共通)

a. CD管・素管の場合

防火キットを図のように配管に斜めに押し当てながら取付けます。

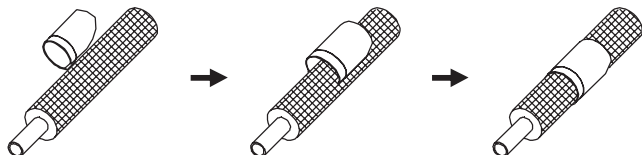


参考: 配管に対して防火キットを寝かせすぎると入りません。



b. 保温材付配管・保温材付CD管の場合

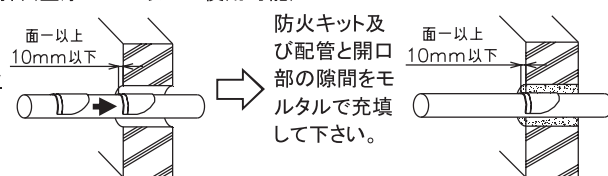
防火キットを図のように配管側面にスリット部の突起を引っ掛けながら取付けます。



参考: 無理に防火キットを取付けようとすると、保温材及び防火キットが破損する可能性がありますので、その場合は防火キットを一度少し広げてから取付けて下さい。

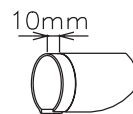
②RC・ALC壁の場合(壁厚75mm以上に使用可能)

防火キットを開口部にずらしします。この時、防火キットの端面が壁面より面一以上10mm以下となるようにして下さい。



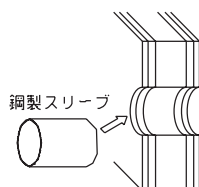
防火キット及び配管と開口部の隙間をモルタルで充填して下さい。

参考: 防火キットの端面に段差部分を10mm確保してありますので、位置調整の際に活用して下さい。

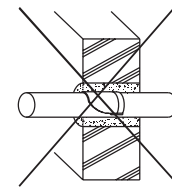


③中空壁の場合(壁厚89mm以上に使用可能)

配管を貫通させる前に、厚さ0.3mm以上の鋼製スリーブを開口とボードとの隙間が発生しないよう取付けて下さい。配管貫通後の施工方法は②RC・ALC壁と同じです。

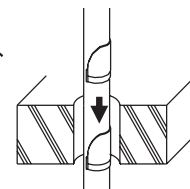


防火キットの端面を開口部に対して逆向きに取付ける事はできません。(RC・ALC・中空壁共通)

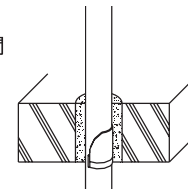


④RC・ALC床の場合(床厚100mm以上に使用可能)

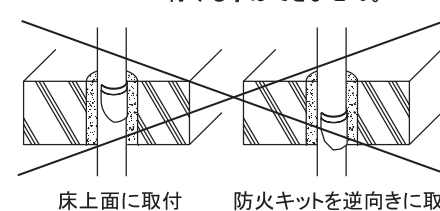
防火キットを開口部にずらしします。この時、防火キットの端面が床下面と面一となるようにして下さい。



防火キット及び配管と開口部の隙間をモルタルで充填して下さい。



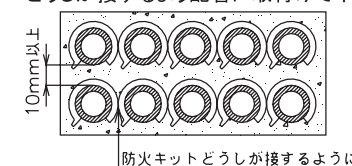
防火キットを床上面側へ取付又は、端面を床下面に対して逆向きに取付ける事はできません。



参考: 壁・床共通

※1 配管を段重ねにする場合は、上段と下段の配管の間隔を10mm以上として下さい。

※2 配管を横方向に並べる場合は、防火キットどうしが接するよう配管に取付けて下さい。



⑤最後に防火キット及び配管と開口部との間にモルタルが確実に充填されている事を確認して完了です。

●適用配管選定表 ※1

防火キット品番	FPK-S	FPK-P	FPK-M ※2	FPK-L ※2
適用配管外径 (mm)	φ 21~27	φ 27~37	φ 37~46.5	φ 46.5~62
CD管(さや管)	16,18	22,25,28,30	36	—
架橋ポリエチレン管・ポリブテン管(素管)	16A	20A	—	—
保温材付架橋ポリエチレン管・ポリブテン管(保温材厚さ5mm)	10A	13A,16A	20A	—
保温材付架橋ポリエチレン管・ポリブテン管(保温材厚さ10mm)	—	10A	13A,16A	20A
保温材付架橋ポリエチレン管(保温材厚さ20mm)	—	—	—	10A
保温材付CD管 ※3	—	16,18	22,25,28	30,36
保温材付CD管 ※3	—	—	16, 18	22,25,28, 30,36
楕円CD管 ※3	—	長径:33~44 短径:23~31	長径:45~50 短径:31~38	—
保温材付楕円管(保温材厚さ10mm)	—	—	—	—
ガスフレキ管(素管)	20A	25A	—	—
金属強化ポリエチレン管(素管)	20A 床施工のみに対応	—	—	—
保温材付金属強化ポリエチレン管(保温材厚さ10mm)	—	13A	16A,20A 床施工のみに対応	—

<注意事項>

※1 CD管に挿入可能な配管は、裏面の「国土交通大臣認定・消防評定番号早見表」をご参照願います。尚、上記表内の各種配管径は呼び径表示となっています。但し、楕円管については長径×短径の外径表示となっています。(楕円管の断面積が、適用配管最大外径を超えないよう品番を選定して下さい)

※2 床施工の場合、FPK-Lは対応していません。また、適用配管最大外径はφ46mm以下となります。

※3 床施工の場合、保温材付CD管及び保温材付楕円管は対応していません。

●国土交通大臣認定・消防評定番号早見表 ※1, 4

		RC/ALC壁 壁厚75mm以上		中空壁 壁厚89mm以上	RC/ALC床 床厚100mm以上
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0429		PS060WL-0462	PS060FL-0548
日本消防設備安全センター性能評定番号		KK20-021号		KK21-009号	KK23-010号
最大開口面積	矩形開口	700cm ² W470×H150以下	660cm ² W300×H220以下	700cm ² W470×H150以下	405cm ² W300×H135以下
	円形開口	φ150	φ220	φ150	φ135
最大占積率	矩形開口	59.2%	59.2%	59.2%	42.8%
	円形開口	54.1%	54.1%	59.2%	42.8%
CD管（さや管）・保温材付樹脂管・素管	架橋ポリエチレン管 シングル管 20A以下	3本	3本	－	3本
	架橋ポリエチレン管 ペアチューブ又はトリプルチューブ 10A以下×2本以下、7A以下×1本以下 （付属ケーブル VCT-3C 0.75mm ² 以下）	4本	5本	4本	4本
	ポリブテン管 シングル管 20A以下	2本	－	3本	2本
	ポリブテン管 ペアチューブ 13A以下×1本以下、10A以下×1本以下	1本 ※3	－	2本 ※3	2本 ※3
	ガスフレキ管 シングル管 25A以下	1本	1本	1本	1本
	ケーブル CV 600V 3C-22mm ² 以下 VVF-3C 2mm ² 以下、VCT-3C 0.75mm ² 以下 同軸ケーブル S-5C-FB φ7.7mm以下 ※2 光ケーブル 2P(5mm×2mm以下)×4本以下	1本	1本	－	1本
	保温材付金属強化ポリエチレン管 シングル管 外径13A以下 発泡ポリエチレン保温材厚さ10mm以下	1本 ※3	－	2本 ※3	2本 ※3
保温材付金属強化ポリエチレン管 シングル管 外径20A以下 発泡ポリエチレン保温材厚さ10mm以下		－	－	－	2本
保温材付架橋ポリエチレン管 シングル管10A以下 発泡ポリエチレン保温材厚さ20mm以下		2本	2本	2本	2本

＜注意事項＞

- ※1 表内の本数は、同一開口に配管可能な各配管種類の最大本数を表します。
各配管種類の最大本数以内であれば、他配管種類との組合せは自由です。
配管例として、給水給湯用架橋ポリエチレン管3本・暖房用架橋ポリエチレン管ペアチューブ5本・ガスフレキ管1本が同一開口に配管可能です。
- ※2 使用するCD管（さや管）は外径φ42（呼び径36）以下、保温材付樹脂管は外径φ48以下かつ保温材厚さ10mm以下（架橋ポリエチレン管10A以下の場合は保温材厚さ20mm以下）を使用して下さい。また、壁施工のみで使用可能な保温材付CD管は、外径φ62以下かつ保温材厚さ10mm以下を使用して下さい。
- ※3 ポリブテン管ペアチューブと保温材付金属強化ポリエチレン管は同一開口に配管する事ができません。
- ※4 詳細な施工条件につきまして、「国土交通大臣認定書」及び「日本消防設備安全センター性能評定書」を必ず確認して下さい。
上記資料は、弊社ホームページよりダウンロード可能です。

【 消防評定マーク ご請求用紙 】

＜共住区画貫通部に施工した場合には、消防評定マークの表示が義務付けられています＞

東京ガスリノベーション株式会社
給排気システム部 給排気営業G → FAX:03-6384-3395

（下記に必要な事項をご記入の上、FAXにてご請求下さい）

●ご請求枚数

評定番号	RC・ALC壁 KK20-021号	中空壁 KK21-009号	RC・ALC床 KK23-010号
一括マーク	枚	枚	枚

- ※1 一括マークは1棟毎に1枚です。尚、一括マークの貼付場所は所轄消防の指導に従って下さい。
※2 消防評定マークには一括マークと個別マークがありますが、弊社では一括マークを標準としています。
やむを得ない事情により個別マークを表示する場合には、その旨を明示してご請求下さい。

●物件情報

評定機関から評定マークの管理・報告が義務付けられていますので、以下の項目は必ずご記入下さい。

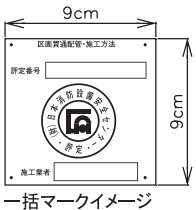
貴社名			
ご担当者名		電話番号	
現場名			
現場住所			
棟数	棟	防火キット使用個数	個

●評定マークご送付先

ご住所	〒
名称	
ご担当者名	
電話番号	

＜注意事項＞

- ※1 消防評定マークを貼付の際は、性能評定書に基づき施工されたことを確認下さい。
※2 集められた情報は、個人情報保護法所定の要件に基づき利用目的の通知、開示、訂正、追加、削除、利用停止等の各お申し出を受けております。



東京ガスグループ
東京ガスリノベーション株式会社
給排気システム部 給排気営業G
〒142-0043 東京都品川区二葉2-9-15 NFパークビル2階
TEL 03-6384-3375 FAX 03-6384-3395
ホームページアドレス: <http://www.tgrv.co.jp>